ＪＡＲＬクラブ登録番号　１０－４－６８
発行　ＪＡ１ＢＭＬ　山田　正寛　(kcj-p@kcj-cw.com)
編集　ＪＡ８ＡＪＥ　笠原　勝
004-0041 札幌市厚別区大谷地東 3-2-1-1013　(thekey@kcj-cw.com)
レポート管理　ＪＲ３ＫＱＪ　中島　昌己　(kcj-rpt@kcj-cw.com)
会報発送管理　ＪＨ３ＥＺＶ　勝本　健
郵便振替口座　００８６０－１－１３４４４　名義：全国ＣＷ同好会
ＫＣＪホームページ　http://www.kcj-cw.com/

ハムフェアのテーマに合わせ、CWに関する次のようなアンケートを試みました。

好きです CW

（設問は各ページ下段に。）

①

１ アマを取るのにはモールス送受信試験を受ける必要があったから。戦後（昭和 27 年）にアマチュア無線が再開されることになり，その年に国家試験が行われました。当時，まだ大学生で若かった私はいきなり第１回の１アマ試験に挑戦し,和文 CW の受信に失敗して見事落ちました。第２回目の国家試験にはモールス送受信試験がない２アマ(当時は１アマ，２アマの２段階しかありませんでした。２アマは現在の電話級と同じ）を受験して合格し，すぐに局免申請をしたのですが，JA1A*～JA1B*は既に発給されていて，一緒に受験して合格したローカルの２人は当時の電波管理局に直接でかけて行ってコールサインの希望を述べて交渉した結果，JA1CP，JA1CW というコールを貰いましたが，私はそのような行動を取らなかったので後回しにされ，今のコールを貰いました。もし第１回の試験に最初から２アマで受験していたら，JA1A*のコールを貰えただろうなと，今でも思っています。

②

２アマで主として７メガで AM が許可された２つの周波数(7050,7087.5KHz)でアメリカと交信することは困難でした。低電力で外国との交信をするには CW でないと無理，そのためにはどうしても１アマを取りたいと考え，前述の JA1CP と二人で相互の家を訪問しつつ，２人で和文 CW 送受信の練習をやりました。音響発信機に２台の電鍵をつないで，お互いに日常会話をモールスで話をする，という方法で，さながら無線のフルブレークイン交信のようなことをやりながら遊び半分の練習をした記憶があります。

③

国内外を問わず，交信相手と電信でラグチュウをすること。国内の局と和文で交信を始めてしまうと，１時間くらいはすぐに経ってしまいます。国外では Bob さん/K6DV というおじいさんと殆ど毎晩(相手は毎朝）7MHzCW で交信して，お互いの家族の紹介などをしたことを今でもよく覚えています。

しかし最近の交信は殆どコールサインを取るだけで終わりで，送信する内容は 599TU だけ。実に味気ない。これが最近になってアクティビティが落ちている原因の一つだろうと思っています。

④

KCJ を通じて空の上だけではなく，アイボールでお付き合いができること。それが楽しみで過去 16 回の総会にも毎回出席して，アイボールミーティングを楽しませて頂きました。CW 大好き人間同士がそれを話題にして話をしていると，何時間でも話題が尽きることがなく,時が経つのを忘れてしまいます。（第１回から第１６回まで，その全部に参加している会員は何人居られるかな？）

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

⑤

ＨＦでのCW仲間はKCJ以外ではなかなかアイボールできませんので,VHFでのCW仲間を開拓しようと,1974 年に 2mＣＷロールコールを毎週日曜日の夜に行って仲間を増やし，関東地区を中心に２mCW 同好会を作ってアイボールミーティングを実施しました。コンディションの良いときには愛知，長野，大阪の局からもコールがあり，感激したことを今でもよく覚えています。その当時の仲間として JG1BGK, JL1HACなどがいて,共にKCJにも入って頂きました。

⑥

情報伝達手段としてのCWは能率も悪く,通常の通信業務からは過去のものとして使われなくなってしまった現在では,CWそのものが新世代の人たちには馴染みのない遺物としか写らないのではないでしょうか。例えとしては適当でないかもしれませんが，原爆，ミサイルが出現した現在，戦争の手段としては全く役に立たなくなってしまった武道（剣道，柔道など）が今でもスポーツとして残っているのと同じように,CWも趣味の世界には行き続けるだろうと思っています。

しかしよく考えてみれば,CWは短点と長点という２値の組み合わせ（正確に言えば異なる長さをもつ３種類のスペース「文字内，文字間，および単語間のスペース」もＣＷの構成要素に含まれます。）で情報を伝えるという点では現在主流になりつつあるデジタル通信の一種であるとも考えられます。若い人たちだって,このことに気づけばCWに興味をもってくれる可能性があると思います。そのためには多くの人たちに CW というものの存在を知ってもらうことが必要です。CWを多くの人たちに知ってもらうためには実際に CW を使って情報伝達ができるということを体験して貰うことが最もてっとり早い近道のように思います。

そのためには，KCJ の入会資格にある『CW 運用歴』とか『CW 運用中』などという制限を取り払って，その枠を『CW 通信に興味を持つ人』というような表現に改め，多くの若い人たちを指導する立場での活動を行って行くべきではないか，と考えます。

暑中お見舞い申し上げます

①

アマチュア無線をやるならモールスだ、と何故か昔から思っていました。

②

JA1CNE 杉本 哲さんの書かれたもの（本だったと思うのだが思い出せない）に書かれていた住所を頼りに、練習用のテープを送って下さるよう依頼したら､奥様からSKされたけれどテープがまだあるので送ります、といったレター付で送られてきたのを今でも覚えています。

符号を覚えるのは基本的には合調法で覚えました。通勤途中などで、思い付いた文章をローマ字で送信するつもりで頭の中で唱えたりしました。

③

CWだと、ヘッドホンを付ければ、家の中にノイズを振りまくことなくアマチュア無線を楽しむことが出来るのが最大の魅力でしょう。

短い交信でも、ちょっとした言い回しで気持ちを伝える/伝わって来るのも楽しいものです。

一旦 CW にのめり込んでアワードなどを追い掛け始めると､その続きもやはりCWでなければならないし、それ以前にCWが好きでたまらないので・・・ということで。やはり、私にとってアマチュア無線とはCWなのかも知れません。

④

アマチュア無線に色々な楽しみ方があるのと同様に､アマチュア無線の仲間にも色々な種類があって、多くの仲間の輪に加わるのは楽しいことだと思います。そんな仲間の一つが、CWの仲間の集まりであるKCJだと思っています。

他には、衛星通信を楽しむ仲間、一緒に移動運用をする仲間（移動先で会う人たちもこの仲間の一種と考えています）、地理的に近くの人たちの仲間（集

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

まって飲むのに大変好都合）などなどいくつかの仲間に、私も加わっています。

KCJ では、総会や地区ミーティングなどで、昔から CW で交信をしている人たちと会うことが出来るのも楽しみの一つですし､会報で 会員の人たちの活躍の様子を知ることが出来るのも楽しみの一つです。

⑥

妙案ではないのですが、

私が昔、KCJ に入りたいと思ったのは、CW で交信した諸先輩方の QSL カードの多くに KCJ のマークが入っていて、「あっ、この人も KCJ 会員なのだ」、「お～、この人も KCJ 会員なのだ」→「KCJ ってすごい」と憧れをいだいたからでした。

新しく会に入ろうという気持ちを持って戴くためには、やはり、会員のアクティビティが高く保たれていて、「あっ、この人も KCJ 会員なのだ」、「お～、この人も KCJ 会員なのだ」→「KCJ ってすごい」という感じを持って戴ける状態を保つことが大切なのではないかと考えています。

①

今から 38 年前、中学校のクラブ JA4YFN で、顧問の先生 JA5AKF が教えてくれました。マイクに話す QSO も素敵でしたが、CW は万国共通と聞き、また、将来 1 アマを目指す必需品として興味を持ちました。

②

最初は合調音式です。A：亜鈴、B：ビートルズ、C：チャートルーム・・・・。しかし後に、和文を覚えたり、プロの免許を取る時になって、この呪文が邪魔となり、100 文字/分以上は辛くなりました。hi

③

必要以上に感情移入ができないひとです。電話だけだと、無線よりも人との会話に嫌気が指していたと感じます。CW は簡潔性を持たない通信の元祖であり、必要以上の情報を送らないことが、多くの魅力として感じているところです。

④

KCJ のメンバーは、社会人として学ぶべき先輩が非常に多いことです。何に対しても厳しくまじめな討論が行なはれ、失敗も指摘して頂け、それでいて包容力がある団体と思います。CW を通じて、人生の糧とさせていただいています。

⑤

やはり、QSO をしているところを見て頂くことが一番かと感じます。今は学校の無線クラブが稀少なので、市町村の防災訓練などで公開運用してはいかがでしょうか？

携帯電話が生活の一部となっている現代では魅力を理解して頂くことは並大抵では無いと思いますが、それでも PR する努力は必要と思います。

⑥

現在、会報を読んでいるだけの会員に焦点を当てて、KCJ に望んでいることなどの調査をしてみると良いと思います。⑤の質問の回答からも、今まで見えなかったことが出て来るかもしれません。それらの会員要望に少しずつ実態としてこたえていくことが活性化に繋がると思います。同好会ですから、失敗を恐れずに、何かをやり続けることが一番と思います。

①

信濃丸、三笠、の電文。七つの海から本国と直接交信する船舶の HF など、CW が私のなかに侵入。またこれを覚えると、すぐに高給が得られると言う話を聞いたことも。（我が家は POOR でした、今もですが）

②

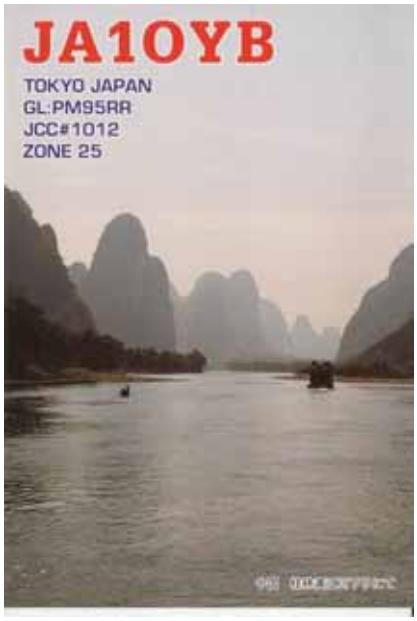
符号を合調音で覚え、警察無線を聴いて練習しました、毎日毎日、オートダインで。もう半世紀以上前のはなしです。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

③
誰の助けも無く直接交信が出来ること。また、大規模停電や、その内起きそうな衛星破壊競争（戦争？）のとき、ドッコイ生きていたCWなんてことありませんかね？
④
日本全国に会員が居る。学識経験の大変豊富なかたが多く、MLなどを通して何でもご教授受けることが出来ること。
⑤
その昔、電話級の人やラヂオ少年とトンツーの練習しましたが、私の転勤などで完結できず、増やそうとしただけですが、興味を持った人に出会うことが先ず第一とおもいます。
⑥
広報の予算を増やし雑誌等にKCJの宣伝を繰り返しおこなう。
敷居を低くする、会員全てがボランティア(勿論可能な方だけ)となりCWの個人指導を行うこと、を会の一業務とし、上記の広報に入れる。てなことは許されるでしょうか。

①
電鍵のコレクション
②
合調法とモールステープ
③
脳の活性化。SSB に比べ混信が少ないから



JH1TFL

①
無線（アマ、プロを問わず）通信の原点だと思っています。ハムを始めた頃から、モールスが出来なければハムのほんとうの醍醐味は味わえないという認識は根強く持っていたが、食わず嫌いで自分には向いていないという思いこみが強く、避けて通っていた気がします。
地方工場に転勤したとき、塩釜のJA7PCH平松さんと同じサフィックスPHCをもらった関係でお近づきになる機会を得、和文・欧文自由自在ということに衝撃を受けました。「初QSOをホレで」という年賀状をもらって一念発起40の手習いで、モールスをゼロからスタート、3年がかりで1アマ取得までこぎ着けることができた。KCJ 入会についても平松さんに推薦者になってもらえたのがなによりの喜びでした。
②
ト・ツー式とテープの音でがむしゃらに詰め込みました。速度は初めから20字／分とし安易に妥協しない速度で練習した。速い速度で覚えると、覚えきったときその速度が身についているというベテランOMのアドバイスがありました。
③
年を取ってくると「ボケ防止」にいいのではないかと考えています。脳みそを使って解読し、脳みそで手を動かす、というのが効果的かと。ト・ツーの単純でいて、心に響くトーンが好きです。アルファ波がいっぱい出ているように感じます。
④
CWについての、ほんとうの愛好者の集まりであること。一癖も二癖もある人が多くいるとは思いますが、それはそれ、また魅力の１つです。
⑤
積極的に会員を増やしているわけではないのですが、CW仲間からKCJ入会の推薦人になって欲しいとたのまれたら、気持ちよく引き受けたいと思います。
⑥
コンテストなどで、あまりうるさくないルールで、気軽に参加して楽しめるものをつくって、宣伝してはどうでしょう。「KCJ＝暗い」というイメージがあるようなことを、どこかでいわれたような経験もあるので。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CWの一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CWを続けている理由はどこにありますか）
④KCJの魅力を紹介してください。
⑤CWの仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっとKCJが活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

①

最初にモールス符号を見たのは小学生の頃で、ｘｘ年鑑に掲載されていました。そして「アは－－・－－」と記憶し、現在和文はダメですが「ア」だけは覚えています。

高校生の頃 SWL を初め、周りでやっている人が少ない CW に興味を持ちました。

②

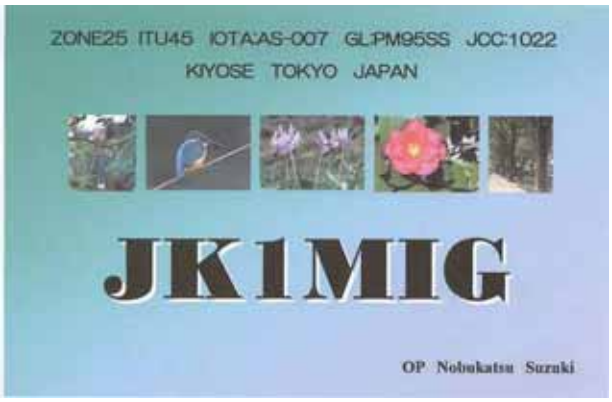
SWL で、主に 14MHz の DX を聞いて覚えました。また、横須賀クラブの会長 JA1BHZ さん宅で開かれた CW 練習会に参加しました。シャーシに真空管１本とマグネチックスピーカの付いた発振器とストレートキーを囲んで数人で練習しました。練習後は OM の無線談義を興味深く拝聴しました。例えば、「電話の通話代が急激にアップ、原因はハイパワー化でキーイング毎に電話の度数計が誤動作したため」とか、実際の経験談をお聞きしました。

③

a)CW は小さなパワーでも遠くへ飛び、QRP と相性が良い。b)CW 機は簡単で自作し易く、自作機での交信もまた楽しい。c)CW 通信は、通信の原点であり、単純な中にも味のある通信ができる。d)CW 通信にはフルブレークイン機能が必須であり、その性能向上への挑戦もまた楽しい。e)CW と QRPp と BAND の３つの特記がある WACA や WAGA を完成できたのは、CW だからと思う。f)CW 通信は静かで家族等周囲環境とのマッチングがとりやすい。g)当局の運用は、「CW ONLY」、他のモードのリグは無く、マイクも無い。

④

a)主催コンテストでの全局照合等、チョット硬めのポリシーがよいと思います。b)ML でのカラー版会報がよいと思います。



①

開局当時、ローカル局が電信級（現３アマ？）を取って CW 運用を始めた事に感化された。そのローカル局は当時高校生の YL さんだった。私も同じ歳の高校生だった。。。

②

コードを覚える為、目に見えるアルファベット、カタカナを全て符号に変えて口に出して言っていた。家の中だけであれば問題ないが、外出時も目に付く看板などを、小声でトツーツーツー等とやっていて周囲からアブナイ人間と勘違いされる始末。その後は、声を出さない様にした。一通り覚えたら、後は、実際の QSO をワッチしてひたすら紙に書いて受信した。業務局の信号も受信練習した。裏が白い新聞の折り込み広告などは、全て裏を受信用紙にした。ボールペンを何本使ったか分からない。学業もこの位熱心にやっておけば良かったと、今も後悔している。

③

弱い信号でも何とか QSO 可能である事。
語学が乏しくても、Q 符号や略語を使って海外局との QSO が可能、パイルアップ時にも周波数を微妙に変えるなどのテクニックを駆使すれば、QSO の可能性がある。こちらの送信信号に耳を傾けて受信してもらえる。電話モードでは、聞き流されてしまう場合が多い。キーイングにも性格が出ていて面白い。また、キーイングで相手の感情が分かるのも面白い。ディジタルモードの原点ともいえるモードである事。

④

ヴェテランの OM さんが多い。
CW のクラブとして世界に通用する。
由緒あるわが国屈指の電信クラブである事。

⑤

ローカル局に CW の面白さを伝え、DX との QSO のしやすさ、などを紹介したところ、3 アマ取得を勧めたが、一気に 2 アマへ挑戦し見事合格。電信の面

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

白さにもどっぷりと漬かってしまった。現在は KCJ への勧誘中である。

⑥

まずは、アマチュア局の減少をくいとめる施策を検討する事が必至。また、現役で運用しているアマ局では、3 アマ以上の電信運用可能局は相当数いると思われる。電信離れをくいとめるためにも、CW の面白さなどを引き続き PR していく事は重要と思われる。

現在の 3 アマ以上の資格試験の試験内容にも電信離れを増強させる要因が有ると思われる。世界的にモールス符号全廃等と言う状況下、電信はアマチュア無線局の特権でもあるといえないでしょうか？CQ 誌などにも協力してもらい、特集記事を組んでもらうとか、KCJ 自体で電信コラムなどを設けていただくなどの PR を勧めていく事が出来ないでしょうか？

①

私が高校生の時 2 つ上の兄がハムをしていて、CW を特別な能力が有るのかと思う位感動して聞いていました。ピーピーピ-で文字に成っていました。

②

欧文は環境で自然に覚えてしまった様です。苦労して覚えた記憶が有りません。和文は、私の子供が小さい時子供の昔話のひらがなの絵本を毎日打っていて覚えました。そして他局の交信を良く聞いています。ですが、なかなか上手くなりません、hihi

③

やはり無線の原点ですね、今となってはアマチュア無線でしか生かされて居りませんですものね！本当に弱い局とも交信出来ます、また、音声より相手局への想像がより働くのも楽しみの一つです。それにボケ防止になるようです。

④

CW に取り付かれた局 OM 達の集団と言うだけで魅力です、私は KCJ のファーム 2 軍です。hi

①

他人がやらない（わからない）CW による意志疎通のおもしろさ。

②

カードの表に文字、裏にモールス符号を書いて覚えた。

③

外国語が不得意なものでも、CW であればどの国のハムとも自由に交信できる、また、慣れてくれば言葉と同じように会話ができる。

④

CW が飯より好きなメンバーの集まり。
コンテストの交信を一つずつ確認する等のまじめさ、信頼感、衛星 CW 通信のベテランが多い、パソコンのベテランが多い

⑤

現役時代に職場でいつも CW 教室を開催し、上級の資格取得に協力した、現在もこの仲間はオンエヤーしている。

JARL 県支部の CW 講習会の講師を 15 年ほど前から担当し、初心者が CW 通信に出られるよう協力している、お空でこの仲間と QSO できたときや、QSL カードに CW 講習会の受講生ですと書いてあることが時々あり、とても嬉しい。

⑥

ひとの競争心をあおること
他人よ少しでも上位に立ちたいと言う、人間の本能をくすぐれば、自然にオンエヤーの時間も多くなりＫＣＪの活性化にもつながる。
例として
長く続けられるアワードでの競争

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

AJA．JCA．DXCC など
今回行った 30 周年フェステ等のロングランによる得点競争、その他、長期間にわたる得点競争

①

CW であれば出力 10W でも外国へ十分電波が届くことが分かった。
国試で電信級アマチュア無線技士を取得（当時は出力 10W）、大学卒業後２アマ取得、開業後１アマ取得、DX の世界へのめりこむ。
かすかに了解できる CW 信号を日夜追いかけることに喜びを感じる。
P5 北朝鮮を残して全カントリーCFM 後、QRP の世界へ転向し、普段 0.5W の CW を楽しむ（P5 は QRP 転向後でしたので、いまだ NO QSO）
すべて CW であればこその楽しさ、面白さです。

②

JARL 発行の教材（カセット・テープ）を繰り返し聞いた。一通り ABC を覚えた後は実地訓練で実際の QSO を聞きながらコールサイン・QTH・QRA のみ必死で聞き取ってから、相手局をコール・QSO。

③

仕事上会話も重要な位置にあるので長時間多数の局と交信しても声がつぶれたりしないところが良い。
QRPp でもほとんどの国内局と交信できる。
コンテスト･移動運用時ワンコールで PC に入力即応答の操作をすることで、脳の老齢化防止と、一瞬のスリル？集中力の維持等の自己訓練が出来る。

④

CW を共通項目として、各局が繋がりをもっている。
また KCJ 発行の KCJA：当局にとって永遠の目標となっている。

⑤

携帯電話の普及前頃に地域クラブで電信級以降コースを数回行った。のべ 100 局位が資格を取ったが、現在まで CW をメインに無線を楽しんでいる局は居ない。しかし、これがきっかけでプロの無線の資格をとり、気象庁・海上保安庁・放送局へ進んだものも居る。

⑥

プロの世界でも無くなってしまった「CW」
会員増加には
①底辺を広げる
４級局に対する短縮コースを宣伝して､3 級局と 4 級局との操作範囲有利さ（出力・周波数帯）をもっとアピールする。短縮コースを開催するよう協力する。
②ＣＷを共通とした魅力をよりアピールする。
短点・長点の組み合わせで意思の伝わることのすばらしさを伝える。SSB に比べて同じ出力ならばより遠くへ信号が届き、より高い感動が味わえる。
③会員内外に対し初心者でもやって見よう・楽しいと思えるイベントを毎年行う。
④JARL・QRP クラブのように自作の楽しみもクラブ活動の中に取り入れる。

①

高校１年生の時，無線クラブに CW の上手い先輩がおられて興味を持ちました。この先輩がいなければ、CW をしていなかったかもしれません。そして，電信級選抜移行コース（当時）で資格を取得しました。その後は近県の CW 練習会へも行きました。

②

カセットテープ(「音感法による…」というもの。その先輩に借りました）もちろん，和文もカセットテープです。後は，とにかく CW　QSO で実践です。

③

a)通信の原点という感じがする。
b)シンプルでありながら奥が深いところ。
c)CW 通信は静かで，家族や近隣周辺にやさしいところ。
d)トレーニング的な要素があるところ。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

④
CW をさらに深く追求したいなら入会すべきクラブと感じるところ。
⑤
CW のことを説明し興味が持たれればモールスを覚えるのカセットテープを渡しました（今なら CD, かも）。
⑥
KCJ 会員に会員 No を付与する。
KCJ メンバーの一員と認識すると共に，KCJ メンバーの重みや一体感も感じるのではないでしょうか？(私が KCJ30 周年の機会にと会長殿にお願いしまして,現在役員会で検討を始めたところとご返事をいただいております)

①
古い話ですが戦争映画を見ていて電鍵をたたくシーンがあった時が最初と思います。その後 BCL/SWL で色々な周波数を聴くようになって解読できないのが悔しいのでそれから CW にどっぷりつかっています。

②
実践あるのみ。ラジオにむかってこつこつとメモしていました。（SWL）
③
ディジタル的なところ。
CW をしながらほかの事をしていてもばれない。
PHONE のように声を出さないので家族に迷惑がかからない。
続けている理由はただ”好きだから”です。
④
学生の頃入会し結構時間が経ちますが皆さん CW が好きであること。CW だけでなくその道のスペシャリストが多くいらっしゃることでしょうか。
⑤
自分が初心者の頃を思い出しその魅力を伝え一歩踏み出してもらった時はうれしいものです。
⑥
この時代はやはり必要な情報をいかに出し CW の魅力を伝えることだと思うのでさらに HP の活用を図ること。
KCJ は全国的な組織なので地区ごとの活性化を図ること。
個人的には KCJ が活性化し会員が増えることではなく CW がさらに活性化しその結果 KCJ 会員が増えればと思います。

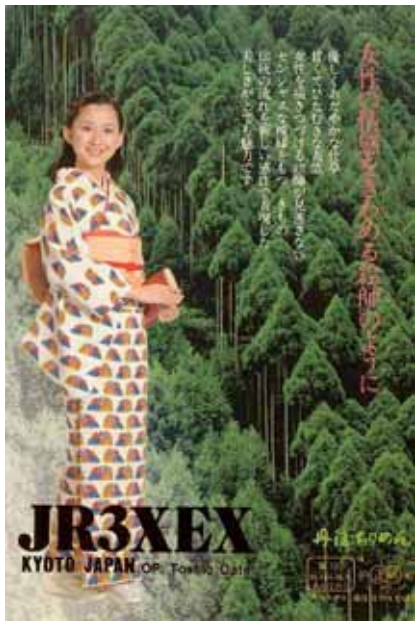
①
モールス語という言語の一種と捉えて、この言語を理解できる者のみが意思疎通を交わせると思った。
②
アルファベット 10 巡程度をマトリックスの用紙に無作為に書き込み、これを上・下・左・右の各方向に繰り返して覚えたが、受信練習のテープレコーダーは未だオープンリール式だった。
③
無線通信していると言う実感があり、また家族に対して音声などによる迷惑をかけないこと。Short is Best の思想が日常生活においても役立つ。
④
入会申請の条件・審査制度、アワード申請に QSL 提出義務付け、コンテストログの突き合せチェック、会員の信条等など、今はかなり緩和された面もあるけれどキッチリ確認しないと中途半端や好い加減を許さないことで敷居が高いと言われている所以かも知れませんネェ～　(寧ろ、これらは当たり前のことなのですが・・・・)個人個人が切磋琢磨して良識と分別のある大人のお付き合いが出来る集団。それだけに会員個人個人には多分に芯の強い面を持ち合わせていると思われる。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

⑤
特になし。
⑥
先ずは若い会員の勧誘でしょうが、アマチュア無線家が減少・高齢化している現状において極めて困難なことだと思われます。
今やCWはプロの世界から消え、その存続はアマチュアだけの古典芸能保存会活動のようなものですが、何かの形で残したいという焦りだけで妙案は浮びません。携帯電話にモールス符号を取り入れて青少年達を惹き付ける方法ないかと、半ば真剣に考えて見たくなります。
古い・非効率なものは淘汰される運命なのか・・・・『流れに棹させば流される』で、何とか上手く乗り切る方法はないものでしょうか？

①
小学生の頃（昭和30年代前半）、「少年の科学」（だったか？）という本にモールスのことが出ていて、興味を持ちました。その頃、悪ガキの間で、自転車のブザー（チリンチリンの代わりで単一電池一本で鳴っていた）で「SOS」と鳴らしていたのを覚えています。
②
初めて欧文を覚えるときは「単語カード」に点と棒を書いて覚えました。しかし、この方法で覚えた符号では、受信時、頭の中に点と棒が浮かんで来たため、和文を覚えるときは初めからテープで「音」として覚えました。
③
(a)やはりなんと言っても低電力でよく飛んでくれます。移動運用時もわずか２ｍ足らずのHFルーフサイドホイップで、50Wでも全国と交信できます。
(b)今はパソコンを使えば、自動で符号が送出できますので、とても楽です。
(c)しゃべらなくてもいいので、体力を使わず、また、飲食しながら交信が出来ます。
④
昔は「敷居が高い」ということを言われたことがあったようですが、そんなことは感じません。各自が自分に合った活動をしており、おおらかな雰囲気があります。それでいて、安易な方向に流されない雰囲気が好きです。
⑤
私自身、ローカル局に対して電信講習会をしたことがあります。それによって数名が（当時の）電信級を取得しました。ただ残念ながら彼らは実際にCWでオンエアすることなく、今ではFMオンリーになっています。
⑥
会員各局が今以上に種々のメーリングリストに（何でもよいので）記事を投稿してはどうかと思います。そうすれば、他の会員が「あ、あの会員はそういうことをしているのか」と再認識して、自分もやってみよう、となるのではないでしょうか？
また、ことあるごと（QSLＬカード、封筒など）にKCJのロゴを入れてPRに努めるようにすればよいと思います。



①
開局後、SSBオンリーに飽きたから。
アマチュアらしくプロらしく思えたから。
②
練習テープを毎日寝る前に聞いた。
A～Z までを4,5分割し１分割が覚えられなくても先に進むことにした。
③
ローパワーでも珍局をゲットできること。
静かであること。
疲れない。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CWの一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CWを続けている理由はどこにありますか）
④KCJの魅力を紹介してください。
⑤CWの仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっとKCJが活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

④
仲間が同じ事をしているので話が合う。
製作、PC,DX、移動、などエキスパートが多い。
⑤
かってローカルクラブでＣＷ勉強会を行なって、受講者全員の写真をとり、受験申請書を提出した。10 数名のうち、まじめに大阪の国試に行った１人合格。他の人は「欠席不合格」
⑥
声かけ、しかないでしょう。コミュニケーションをよくとり退会を出さないこと。地区ミーティングにもっとたくさん参加できるよう地区単位の行事（イベント､移動運用､飲み会)に補助を UP しては？

①
これといった理由はないのですが、無線の楽しみの一つとして CW があるということ、母親から戦時中に覚えたという「イトー」、「ロジョーホコー」､「ハーモニカ」というのを教えてくれたこともきっかけかも知れません。

②
全くの独学です。最初は、単語を覚えるときに使ったリング式のカードで視覚的に記憶。次に、看板や英語教科書などの文字を見て、ト・ツーと口に出した。（とくに和文は効果的だった）。これで送信能力がついたと思います。
電鍵を使った送信練習は、マーカ発振器を使ってやりました。そのため 9R59D を改造（電鍵練習用のジャック取付）しました。受信能力は、実際の QSO を聞くことによりつけました。
③
CW をスタートしたのは、自作送信機が作り易かったためです。その後、実際の体験として遠方の局との QSO が出来ることがわかったので、3.5/7MHz 帯で数ワットを出して CW 運用していました。
その後も、貧弱なアンテナと無線機で細々と QRV していましたのでもっぱら CW となっていました。SSB の免許をもらったのは多分就職してからだと思いますが、それ以来アパマンハムを続けていますので、特別な場合を除いて CW が中心の運用でした。もしかしたら CW 以外の選択肢がなかったのかも知れませんが、それはそれなりに満足して楽しんでいます。
これからも CW は続けることになると思います。
④
入会当初より気楽に参加できたことですね。CW では著名な方も沢山おいでになることも誇りです。
⑤
残念ながら実績がありません。息子には CW 免許をとらせましたが、仲間を増やしたということには該当しないでしょう。
⑥
残念ながら妙案というものがありません。KCJ QSO パーティはそれなりの効果が出て欲しいと思います。
道の駅アワードは無線を活性化させるひとつの方法と思います、何かひとつのことに集中できる、カラクリを作ってみるのもよさそうです。

①
小学生の時に自作短波ラジオからモールス信号が聞こえてきて､「これで会話になっているのか･･･、これがわかる人は凄い・・・」と感心した事がきっかけ。
②
単語カードで覚えたが､近所の OM さん(プロ出身)から「上級資格まで取得する気があるなら和文から覚えた方が良い・・・」と言われその通りに和文から実行。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

（通信士養成学校の多くが和文から教えている。）

③

のんびり縦振電鍵やバグキーでのラグチューを行い、相手局の符号の特徴・癖を聞かせて頂いている時間が楽しい。（最近はゆったりとしたQSOは殆どやってないが・・・）

CW 愛好家には長年にわたって無線を続けている方が多く、人の入替わりが他のモードに較べて少ない。しばらくQRTしていても懐かしい仲間から呼んで頂ける事が多い。

アパマン(転勤族)で小電力・小型アンテナしか設置できないという状況でも CW ならそれなりに飛んでくれてQSOが楽しめる。

④

移動運用・ｺﾝﾃｽﾄ・衛星・ＤＸ・ｱﾜｰﾄﾞﾊﾝﾄ・自作・QRP・欧文・和文など楽しみ方は色々あっても「CW」という共通点で強く結ばれている仲間意識・連帯感がある。

⑤

昔は独身で時間があった事もあり東京大学などアクティブなクラブ局への訪問・交流などで仲間を増やしたが、近年はハムフェアー同時開催の「コンテスターミーティング」参加による著名コンテスターとの交流。

小規模コンテストの日程に併せてローカルさん、ビギナーさんとの合同移動運用等を何度も企画して、準備・設営・運用・炊事などのポイントを伝授しながら移動運用やコンテストの楽しさを知ってもらい（洗脳？）、昔は地元でクラブまで作ったこがある。

①

中学生時代、部活で毎日気象観測をしていた頃です。台風が接近中の大荒れの日、学校の隣にある石巻測候所（現在は無人化されている）へ台風についての指導を受けに行きました。当時測候所では中央気象台への観測結果の報告は、短波のモールス通信で行っていました。それを見た時、モールスのカッコよさに完全にイカれてしまい、将来は通信士になり、離島（例えば、今はない鳥島測候所など）で気象観測の仕事に就きたいと本気で決めてしまいました。

②

無線通信士になるための高校に進んだので・・・。卒業時、気象台はもちろん海運業界の不況で船舶通信士の求人も少なく、陸上で有線通信をする会社に就職しました。

③

とにかくCWが大好きなのです。ただそれだけです。現役時代、単身赴任先などで、FBなアンテナが建てられなくとも、CWなら何とか楽しむことができました。

リタイヤした現在も満足なアンテナはありません。また、自由時間もなかなかとれないのですが、月間500QSO、年間6,000を目標にできるだけ ON AIR するようにしています。

④

CWは通信の原点という考え方に共感できます。

⑤

所属する地域クラブが講習会等を実施し、クラブ員の殆どがCWの資格を取得しました。

しかし、その資格を有効に活用している方はわずかです。資格取得後のケア（CW QSOの実際を覚えてもらい、CWにはまり込むまで・・）が大切と考えます。

⑥

会員ができるだけアクティブに電波を出し、KCJのロゴ入りQSLを発行することも一つの方法ではないでしょうか。私が入会したのは、自分のカードにKCJのロゴを入れたかったのが、大きな理由でした。

****

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CWの一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CWを続けている理由はどこにありますか）
④KCJの魅力を紹介してください。
⑤CWの仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっとKCJが活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

①

東北訛りがひどく、PHONEだと「福島」だということがバレバレのため､方言のない「CW」に興味を持ちました。

②

パソコンでランダムに作った信号をテープに録音し、通勤の車の中で聞いて覚えました。(和文も同じ)

③

長時間運用しても「口」が疲れない。

④

「通信の原点」であるCWをこよなく愛している仲間が集まっていること。

⑤

残念ながらあまりありません。

⑥

少子化のうえ、趣味が多様化していますから、CWの人口自体が減る中、会員を増やすことは難しいと思います｡今回の30周年記念QSOパーティーや出来たら「DX-pedi」などでCSを上げ、現会員が退会していくことを出来るだけ少なくすることが肝要だと思っています。入会基準のハードルを安易に下げることが、入会者を増やすことだとは思えません。

①

単純に無線通信＝モールスというイメージを持っていました。ハムの免許を取得する以前のSWLでもCWの方が稼げたことから、自然と覚えていった記憶があります。５球スーパーラジオから聞こえたボコボコの音に「これは何だろう」という疑問からアマチュア無線を知るところとなりました。

②

欧文受信はカセットテープ（日本短波放送編＝昭和47年頃）を聞いて「音感法」で覚えました。でもSWLで実戦のCWを聴いたのが一番効果がありました。

送信は電信級の資格を得てから練習しました。当時の電信級の試験では送信実技試験もありましたが、試験前までは電鍵を持っておらず、ぶっつけ本番で試験に挑んだことを思い出します。

和文は「ピコ・モールス」のお陰です。今でも”通勤の友”として毎日聞いています。

③

無線通信として、今でもやはり一番カッコよさを感じています。世界中で通じること、最小限の符号のやりとりでも意思疎通がはかれること、礼儀正しい交信が多いこと等々です。

そして何よりも CW 通信そのものが楽しいことです。縦振り電鍵でKEYを打つ、パドルで符号を奏でることがとても楽しいです。

④

順法意識が高く、極めて常識的な紳士淑女の会員が多いと感じています｡日本におけるCW通信の模範となる KEYMAN が多く所属するクラブであると思っています。ただ単にモールスが好きというだけでなく、モールス通信の世界全般を高めようという意識を持っている会員が多いことに魅力を感じ参加しました。模範的なKEYMANになることが目標です。

⑤

私はしばらくQRTが続いていたカムバック組です。再びハムを始めた人の多くに CW の魅力を話す人が多いことは、私も同じ気持ちだっただけにうなずけます｡同期の友達もやはり近年ハムを再開しました。きっかけは上級資格の条件緩和のようでしたが、上級資格を取得したからこそできる CW 通信を勧めたところ､今ではほとんどの交信がCWとなっているようです。

携帯モバイル時代で便利になった世の中ですが、もっとも手軽で便利な音声会話より、入力に手間のかかるメール通信が若い人の中でも盛んなことは、

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

通信手段とは便利さだけでなく、いかに相手に自分の意思を伝えることができるかの重要性と、意思伝達の面白さと確実性が文字通信の中にあることを本能的に感じているからなのかと想像しています。

通信モードとしての CW は最も古いモードですが、文字通信の原点でもあるモールスは決して若い人に受け入れなれないものではないと信じています。

⑥

ただ単に CW が好きということで集まるというのであれば他にもそのようなクラブはあり、私自信も参加しています。

会員を増やすだけであれば、入会条件をもっと緩和すればよいことかもしれません。しかし KCJ の存在意義はそのステータス性にあると思います。上手な KEYMAN になることを目標としている集団ということをもっと伝えられればと思います。

活性化の一つの方法として、会員番号の付番を考えてはどうでしょうか。入会年月日順（同年月日であれば年齢順）に、メモリアル会員も含めて会員番号を付番していただくことにより、KCJ の一員としての自覚も高まるのではないでしょうか。コールサインも正式に免許を受けた者の証であるのと同じく、KCJ 会員番号も正式に入会を認めていただいた証として誇りに感じると思います。

権威主義的な傾向になるのかもしれませんが、KCJ の会員である者は模範的な KEYMAN でなければならないという自覚が高まるのではないでしょうか。会員各自の KCJ の一員としての自覚が高まれば活性化にもつながると思います。

①

CW に興味を持ったきっかけはまったく覚えていません。中学生の頃 0-V-0（三極真空管 76）を作り短波を聞き始めました。なぜハムバンドを聞き始めたかも覚えていませんが、「初歩のラジオ」でハムを知ったのだと思います。0-V-0 では遠くの局は CW でしか聞くことが出来ませんでした。CW であれば DX も聞くことが出来るので、CW に魅了されたのでした。

②

ハムバンドで CQ を出している局はコールサインを何回も送出するので、それを聴いて覚えました。

③

何かをやるとき、直接やるより技能を必要とする手段を介してやった方が面白い。ですから、通信も直接 phone で話すより、CW や RTTY（タイピングの技能）が面白いと感じます。さらにもう一段、外国語を使えれば益々面白いでしょう。

④

KCJ に入会するまでは、まったく一人でやっていました。コンテスト参加後送られてくるザ・キーをみると、会員のアクティビティが載っています。他の人に比べ自分はどうなのか、を比較できる点が魅力で入会しました。

もう一つは、コンテスト。QSO データを相互に照合することは当時必要と思われていたでしょうが、なかなか出来なかったはずです。それを実現した信念（執念？）に敬意を。

①

小電力でＤＸができる。送信機に変調回路が不要。

妙に心地よいリズム感を持ち、単音だけの不思議な意志伝達手段（言語）。

②

１日目、まずは文字をただただ暗記。

次の日から、町の看板など目につくものをモールス符号に変える（音訳）。

ＣＷバンドをひたすらワッチ、聞き取れた符号だけを書き取る。

③

小電力、ワイヤーアンテナでＱＳＯできる。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。

ＣＷという共通の意思伝達手段（言語）を利用しているという妙な一体感。

制限された中での意思伝達、表現方法の工夫、同じＲという符号でも、その場面や相手によっていろんな意味を持つ。

④

単純にキーマンの集まりだから。ＣＷの話が出来るから。

①

興味を持って覚えたというより、中学校の文化祭で、私の入っていた電気クラブの隣でアマチュア無線クラブがあり、それがきっかけで無線クラブに入りました。当時の OM（同級生）が、「アマチュアをやる者、モールスを知らないのは、アンカバーだ。」みたいな感じで特訓を受けたものです。楽しいっていうよりきつかったなあ。

②

とにかく､打った符号を取る｡とれないと部室で、スッペ（手をびしっとやる）をされて、真っ赤になるので、もう必死だった｡でもさすが上達は早かった。

③

電話だったら３歳の子でもマイクを押せば話ができる。でもＣＷは練習して技能を身につけないとできない。その技能の誇りだと思う。一言でいい表せないけど､音を聞いているだけで､幸せな気分になる。

④

正統派のモールスマンの集まり。初めて私が全国総会に参加した時、わざわざ私に声をかけていただいた。とっても心優しい、しっかりとした絆のある集団。

⑤

前の会報にも書いたように、毎年モールス講習会をやっている。ライセンスの取得であれば、かなりの局数になる。

⑥

一人でも二人でも核になる人（キーパースン）がいて、情熱を持って取り組むならば、人は必ずついてくると信じている。

---

①モールス符号に興味を持ったきっかけは何ですか？
②モールス符号はどうやって覚えましたか？
③CW の一番の楽しみ方はどのようなものですか？（CW を続けている理由はどこにありますか）
④KCJ の魅力を紹介してください。
⑤CW の仲間を増やした経験があれば紹介してください。
⑥こうすればもっと KCJ が活性化する（その結果会員も増える）という妙案があったら挙げてください。